キャラクター名: ルカ・レオニードヴィチ・グレーヴィッチ

プレイヤー名:

シンドローム	キュマイラ ハヌマーン	ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	ﾚﾈｹﾞｲﾄﾞ災害緊急対応班隊長
オプショナル		年齢	26	性別	男
覚醒	感染	衝動	嫌悪	初期侵食率	33 %
出自	有名人	経験	実験体	邂逅	借り

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	4	1	0			5
感覚	1	0	0			1
精神	1	0	0			1
社会	2	0	0			2

HP	31
行動値	3
(非装備時)	3
戦闘移動	8
全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	9		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	3		知覚			意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：ﾚﾈｹﾞｲﾄﾞ	2		情報：UGN	3	
運転：			芸術：			知識：遺産	1		情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
鬼切りの古太刀	白兵	5r+9	3	10		
①②「抜刀・風鳴」	白兵	5r+9		34		セットアップ適用済
①②(100%)	白兵	8r+9		42		セットアップ適用済

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
ｴﾝﾌﾞﾚﾑ：ｴﾌｨｼｴﾝﾄﾜｰｸ	
評議員命令	
コネ：UGN幹部	
コネ：要人への貸し	
ウェポンケース	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
遺産継承者：鬼切の古太刀	P	N		
固定：父親（BL）	P 尊敬	N 隔意		
固定：REC_ﾃﾚｰｽﾞ･ﾌﾞﾙﾑ(WH)	P 信頼	N 食傷		
ｼﾅﾘｵ：遺産 ｴﾚｳｼｽの秘儀	P 執着	N 憎悪		
PC間：月代瑠美	P 信頼	N 脅威		
アイシェ＝アルトゥウ	P 連帯感	N 疎外感		
逢坂柾	P 好奇心	N 嫌気		

最大財産P: 6	残り財産P： 5

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
①コンセ：ハヌマーン	3	2	メジャー	-	-	対決	-	
効果：	C値-LV							
②一閃	1	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果：	全力移動後に白兵攻撃。攻撃の成否に関わらず移動は行われる（離脱不可）							
ターゲットロック	3	3	セットアップ	視界	単体	自動	-	
効果：シーン中、あなたが対象に攻撃を行った場合、攻撃力+[LV*3]　対象：:範囲のように対象以外のキャラクター含めて攻撃する場合、この効果は適用しない								
攻勢変色	3	3	セットアップ	視界	単体	自動	リミット	
効果：	《ターゲットロック》で上昇する攻撃力+[LV*5]　ただしバッドステータスの暴走を受ける							
魔獣の咆哮	3	2	オート	視界	単体	自動	-	
効果：	判定直前に宣言。判定ダイス-LV個　ラウンド1回							
鋭敏感覚	★		メジャー				-	
効果：	身体の感覚器官を変化させ、広範囲の捜索や周囲の状況変化に敏感になる							
彼方からの声	★		メジャー				-	
効果：大気中の音声伝播力を操作する。雑踏の中で秘密の会話をすることも、LV十口メートル向こうまで音声を届けることもできる。必要なら<RC>で判定								
軽功	★		常時				-	
効果：	すさまじく身軽になる							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

使用：基本1/2、LM、EA、UG
一人称：俺／二人称：あんた、お前、貴様（敵）／三人称：あんたら、お前ら

「俺たちには誇りがある。だが、犬も喰わないような下らんプライドはない」

UGN本部所属、レネゲイド災害緊急対応班「マルコ」隊長。
ロシア人で、愛称は「ルーニャ」。
父・レオニードは「マルコ」の前隊長であり、レネゲイド災害で亡くしている。
その際、班の象徴である遺産・鬼切の古太刀の継承とともに、新たな隊長として任命された。
性格は冷静沈着でぶっきらぼう、敵に対しては苛烈。無愛想に見えるが、愛情のない人間ではない。
ただし、遺産の影響によりジャームに対しては嫌悪感や憎悪を露わにする。

「獣の子」を意味するグレーヴィッチ家は動物の名前に関連した名前をつける習わしがある。
父の名はギリシャ語由来で「獅子に似た者」を意味し、班のシンボルと共にマルコを象徴する人物と誉れ高く、隊長としても偉大な人物であった。
ルカも隊員として所属していたが、父の威光と比べれば未熟と言われることも多く、そのことがコンプレックスになっていた。
一方で彼はそこで挫けることなく、偉大な父をライバルと捉え、研鑽を積んでいった。
今でこそ隊長として認められているが、本人はまだ父親には追いつけていないと思っている。
故に父親を死に追いやり、永遠に届かない存在にしたレネゲイド災害に執着し、それを引き起こす「エレウシスの秘儀」を憎む。
コンプレックスの一つにグレーヴィッチ家では色濃く出ると言われるキュマイラシンドロームの力があまり強くないこともあり、
自己強化のために自身を実験体として提供することで、ようやく同等に力を使いこなせている。しかし≪完全獣化≫は使用できない。
かつて任務にて死亡しかけた際、別任務で同じ対象を追っていたマリア・チェスノコフに助けられたことがあり、査察部4課には借りがある。
とはいえマリアは改革派（アッシュの部下）ということもあり、仲が良い訳ではない。